

**「懐かしの学校給食」でフードロス削減に貢献！
大人になった今でも「学校給食を食べたくなる」
と回答した親世代は86.4%
～最も多かった理由として
「子供の給食の話を聞いて懐かしさを感じる」の声～**

株式会社クラダシ（本社：東京都品川区、代表：関藤 竜也）は、30代以上で学校給食を食べるお子様があり、「フードロス」について認知している人111名を対象に、「フードロス問題への意識や学校給食への関心」に関する調査を実施いたしました。

■調査概要

調査概要：フードロス問題と学校給食に対する関心調査

調査方法：インターネット調査

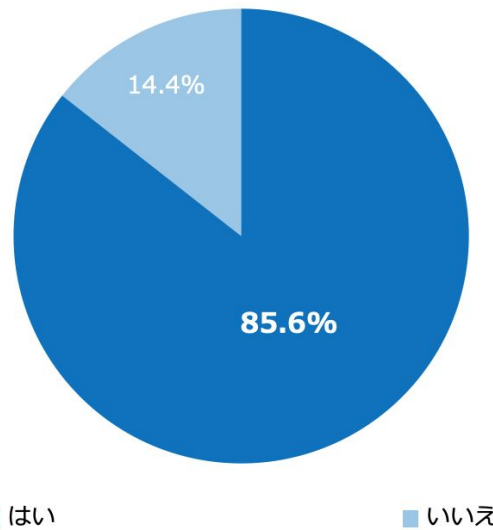
調査期間：2020年9月29日～同年10月08日

有効回答：30代以上子持ちの、「フードロス」について認知している人111名

■コロナの影響による学校休校が原因で「フードロス」が増加していることを知っている人は85.6%

「Q1.あなたは、新型コロナウイルスで学校の休校が増えた影響で「フードロス」が増加していることを知っていますか。」（n=111）と質問したところ、「はい」が85.6%という回答となりました。

Q1.あなたは、新型コロナウイルスで学校の休校が増えた影響で「フードロス」が増加していることを知っていますか。



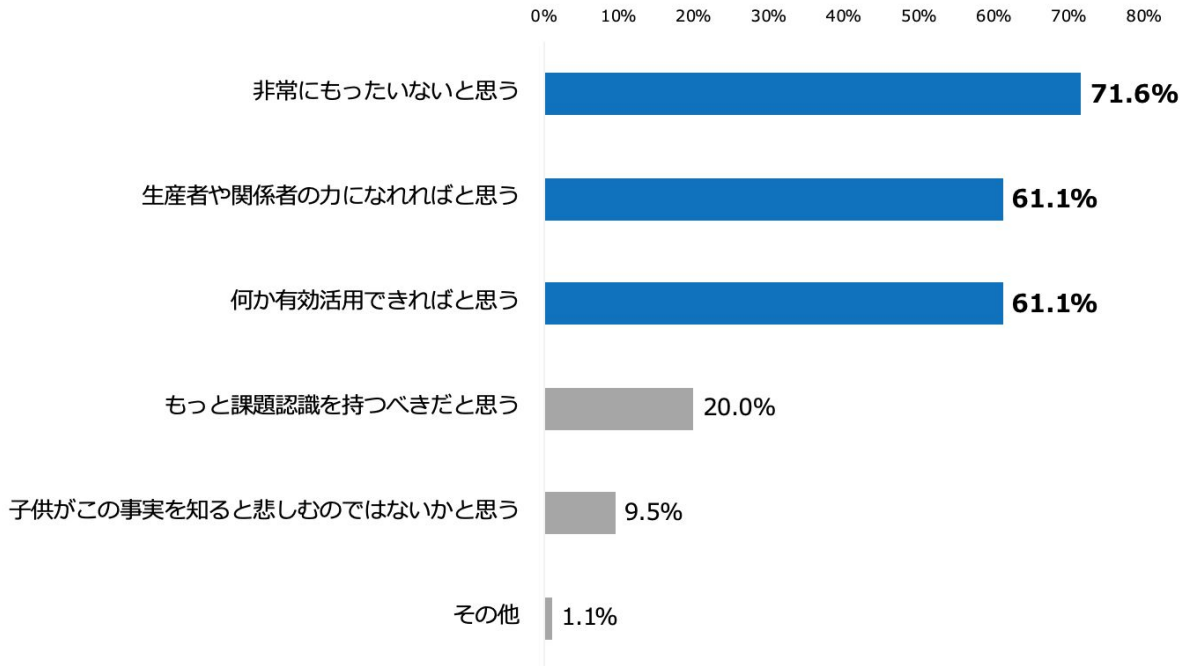
- ・ はい : 85.6%
- ・ いいえ : 14.4%

■休校によるフードロス増加問題について、「生産者や関係者の力になれば」や「何か有効活用できれば」の声が61.1%

Q1で「はい」と回答された方に「Q2.あなたは、新型コロナウイルスで学校の休校が増えた影響で「フードロス」が増加していることについて、どのように感じますか。」(n=95)と質問したところ、「非常にもったいないと思う」が71.6%、「生産者や関係者の力になればと思う」が61.1%、「何か有効活用できればと思う」が61.1%という回答となりました。

Q2.Q1で「はい」と回答された方に聞きます。

あなたは、新型コロナウイルスで学校の休校が増えた影響で「フードロス」が増加していることについて、どのように感じますか。(複数回答)

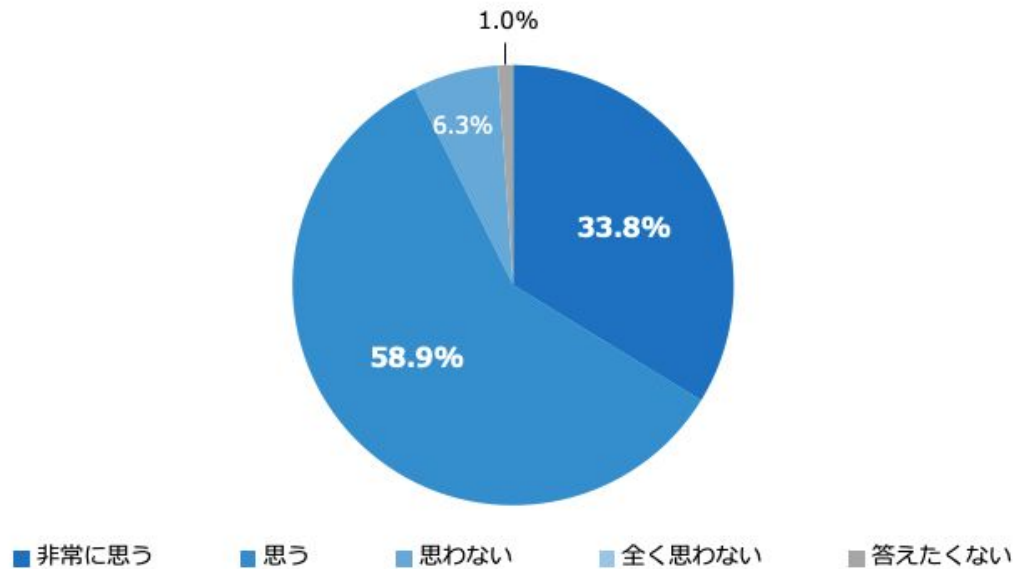


- ・ 非常にもったいないと思う : 71.6%
- ・ 生産者や関係者の力になればと思う : 61.1%
- ・ 何か有効活用できればと思う : 61.1%
- ・ もっと課題認識を持つべきだと思う : 20.0%
- ・ 子供がこの事実を知ると悲しむのではないかと思う : 9.5%
- ・ その他 : 1.1%

■「事業者や生産者のために何か貢献したい」の声92.7%

Q1で「はい」と回答した方に「Q3.あなたは、増加した「フードロス」により困っている給食関連事業者や生産者の方のために、何か貢献したいと思いますか。」(n=95)と質問したところ、「非常に思う」が33.8%、「思う」が58.9%という回答となりました。

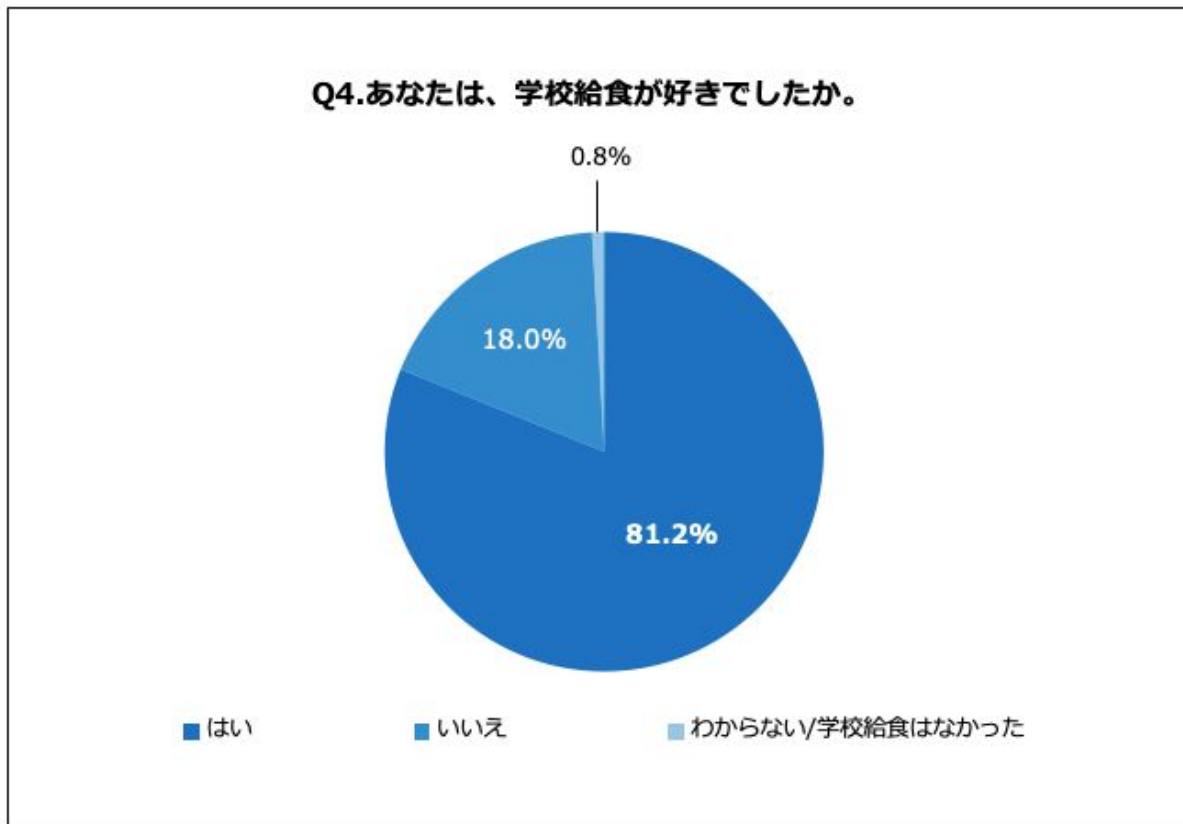
Q3.Q1で「はい」と回答した方にお聞きします。
 あなたは、増加した「フードロス」により困っている
 給食関連事業者や生産者の方のために、何か貢献したいと思いませんか。



- ・ 非常に思う : 33.8%
- ・ 思う : 58.9%
- ・ 思わない : 6.3%
- ・ 答えたくない : 1.0%

■81.2%の親が「学校給食が好きだった」と回答！

「Q4.あなたは、学校給食が好きでしたか。」(n=111)と質問したところ、「はい」が81.2%という回答となりました。

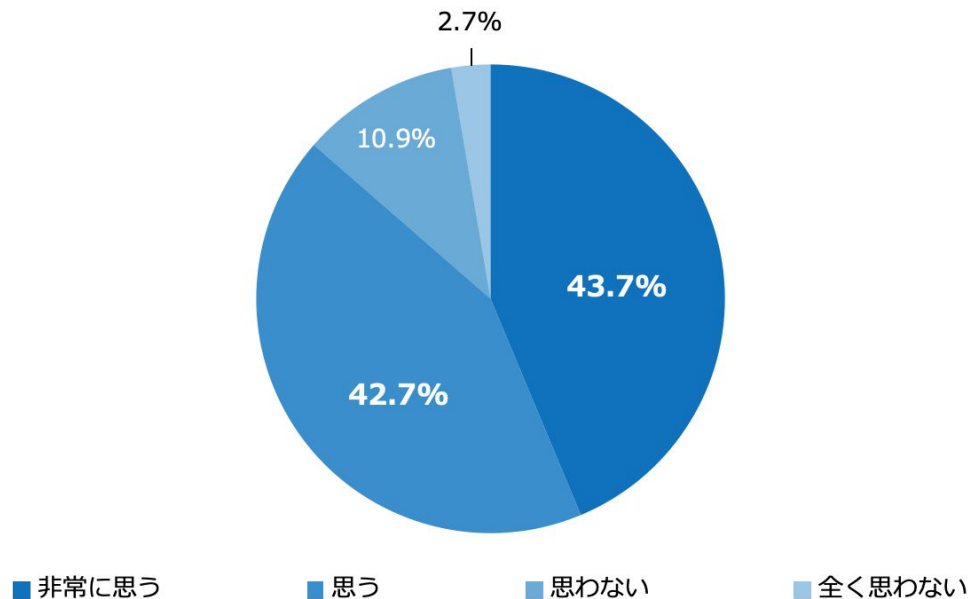


- ・ はい : 81.2%
- ・ いいえ : 18.0%
- ・ わからない/学校給食はなかった : 0.8%

■ 「懐かしの学校給食を食べてみたい」の回答が86.4%

「Q5.あなたは、大人になった今「懐かしの学校給食」をもう一度食べてみたいと思いますか。」(n=110)と質問したところ、「非常に思う」が43.7%、「思う」が42.7%という回答となりました。

Q5.あなたは、大人になった今「懐かしの学校給食」をもう一度食べてみたいと思いますか。

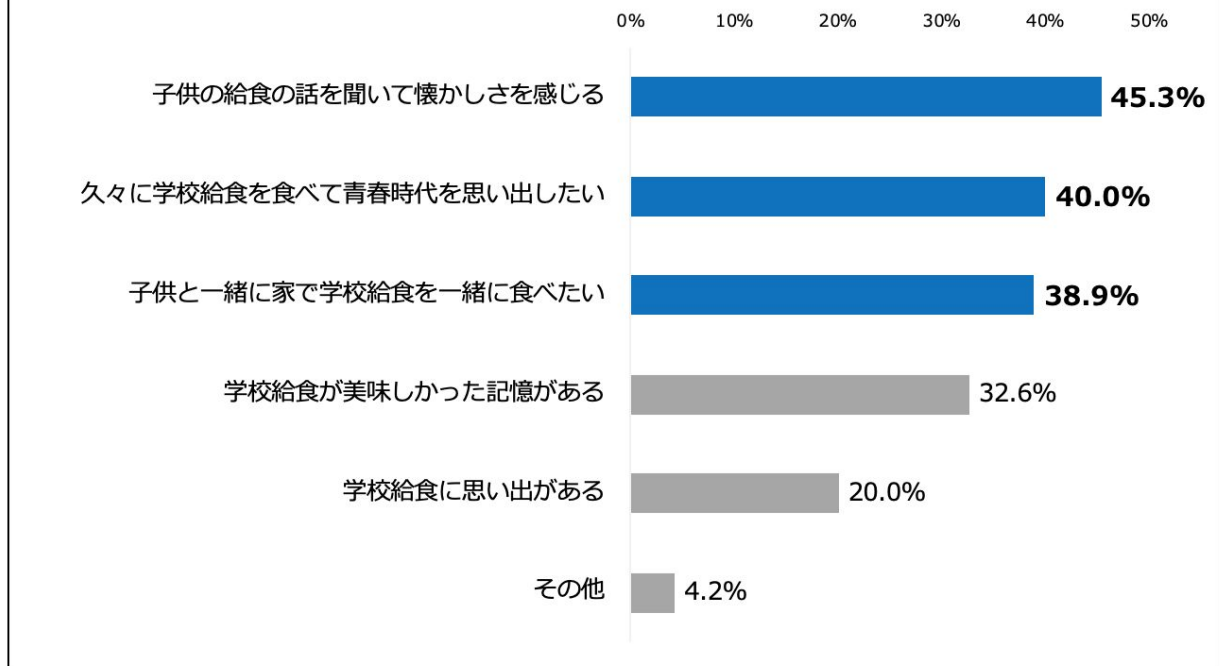


- ・非常に思う : 43.7%
- ・思う : 42.7%
- ・思わない : 10.9%
- ・全く思わない : 2.7%

■ 給食を食べたいと思う理由、「子供の給食の話聞いて懐かしさを感じる」や「久々に学校給食を食べて青春時代を思い出したい」の声！

Q5で「非常に思う」「思う」と回答した方に「Q6.理由として考えられるものを教えてください。」(n=95)と質問したところ、「子供の給食の話聞いて懐かしさを感じる」が45.3%、「久々に学校給食を食べて青春時代を思い出したい」が40.0%、「子供と一緒に家で学校給食と一緒に食べたい」が38.9%という回答となりました。

**Q6.Q5で「非常に思う」「思う」と回答した方にお聞きします。
理由として考えられるものを教えてください。(複数回答)**

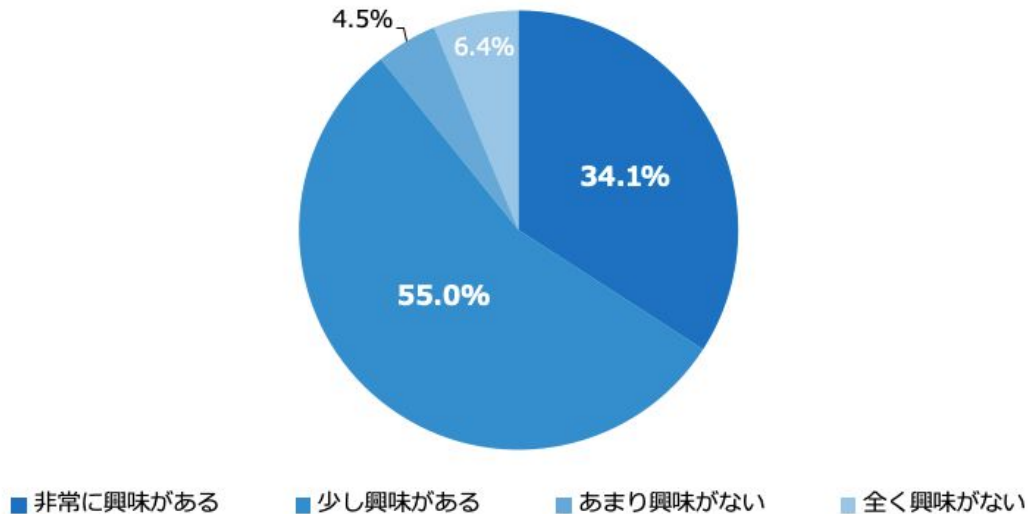


- ・ 子供の給食の話を聞いて懐かしさを感じる：45.3%
- ・ 久々に学校給食を食べて青春時代を思い出したい：40.0%
- ・ 子供と一緒に家で学校給食を一緒に食べたい：38.9%
- ・ 学校給食が美味しかった記憶がある：32.6%
- ・ 学校給食に思い出がある：20.0%
- ・ その他：4.2%

■ フードロス削減に貢献できる「学校給食キャンペーン」関心度89.1%

「Q7.あなたは、学校で活用する予定であった多くの食品・食材を購入することで、フードロス削減に貢献しながら、自宅で「懐かしの学校給食」を楽しむことができる『学校給食キャンペーン』に興味がありますか。」(n=111)と質問したところ、「非常に興味がある」が34.1%、「少し興味がある」が55.0%という回答となりました。

Q7.あなたは、学校で活用する予定であった多くの食品・食材を購入することで、フードロス削減に貢献しながら、自宅で「懐かしの学校給食」を楽しむことができる『学校給食キャンペーン』に興味がありますか。



- ・非常に興味がある：34.1%
- ・少し興味がある：55.0%
- ・あまり興味がない：4.5%
- ・全く興味がない：6.4%

■まとめ

本調査では、30歳以上のお子様のいる親世代を対象に、「フードロス」に関する意識調査と、それに付随して学校給食への関心の調査を行いました

調査によると、新型コロナウイルスで学校の休校が増えた影響で「フードロス」が増加していることを知っている親世代は85.6%と非常に多く、そのうち「生産者や関係者の力になればと思う」や「何か有効活用できればと思う」などと考える人も6割以上いることがわかり、コロナの影響で廃棄することになってしまったフードロス食材に対して多くの人たちが、関心や貢献の意識を持っていることが明らかになりました。

一方で、学校給食については、親世代のうち「学校給食を好きだった」と回答する方は81.2%、加えて「大人になった今でも学校給食を食べたい」などと考える方も86.4%おり、理由として「子供の給食の話を聞いて懐かしさを感じる」や「久々に学校給食を食べて青春時代を思い出したい」などの声が上がりました。

「学校給食キャンペーン」では、学校給食で活用する予定だった未利用の食品・食材を、ご家庭で楽しむことができます。この機会にフードロス問題で悩みを抱えている事業者や給食関係者に貢献できる「学校給食キャンペーン」に参加してみたいはいかがでしょうか。

■「食べて応援！学校給食キャンペーン」



新型コロナウイルス感染症対策のために実施された小中学校の一斉臨時休校。この決定に、給食の食材を納品する事業者は相次ぐキャンセルと行き場を無くした食材に困惑が広がりました。現在学校は再開していますが、学校給食に食品や食材や飲料を提供している全国の給食関連事業者様は多大な影響を受けています。クラダシでは社会貢献型ショッピングサイトKURADASHIを通じて、現在も行き場を失っている「未利用食材」の購入支援をすべく「食べて応援！学校給食キャンペーン」実施を実施しております。

▼「食べて応援！学校給食キャンペーン」特設ページ

https://www.kuradashi.jp/user_data/school-lunch-campaign

※キャンペーン期間：2020年7月28日（2020年12月終了予定）

※本プログラムは予告なく終了する可能性があります。

▼事業名：農林水産省「令和2年度 学校給食の休止に伴う未利用食品活用緊急促進事業（フードバンク活用の促進対策及び再生利用の促進対策）のうち新たな販路へのマッチング等促進対策」補助事業

関連URL：https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/shokusan/200604_051-1.html

<お困りの給食関連事業者の皆様へ>

学校給食に食品や食材や飲料を提供していた「未利用食材」をぜひKURADASHIに掲載しませんか。

- 1、お客様が商品を購入した際にかかる送料は当事業にて負担致します。
- 2、商品を弊社へ納入する際の費用（配送料・サンプル代）は当事業にてお支払い致します。（追加の費用はございません）
- 3、本キャンペーンを通じてフードロス削減をすることが可能になり、一般消費者の皆さまに貴社を知っていただける機会になります。

▼給食関連事業者様向け特設ページはこちら

https://www.kuradashi.jp/user_data/caterer

＜学校給食キャンペーンにご協力いただける消費者の皆様へ＞

本キャンペーンの対象の商品は、農林水産省の補助により送料無料でお届けします。

- 1、対象商品は子供にも受けが良い給食の味のため、ご家庭の食が進みます。
- 2、商品は日々変動しますが、学校給食用の半調理済み食材やアレルギー対応の食材が販売されているときもあるので、時短調理にも最適です。
- 3、KURADASHIで購入することで、お得に気軽に社会貢献をすることが可能です。

子供達の食を支える学校給食。毎日栄養を考えて作られる給食には、たくさんの生産者さんや事業者の皆様の努力と想いが詰まっています。

本取組により、やむを得ず廃棄される予定だった食材を再利用することで、食品ロスの発生を防止し、資源循環の促進へつながっていきます。いつも今回いつも私たちを笑顔にしてくれる食の業界で働く人たちを守るため、いまこそサポートしませんか。クラダシがスローガンとしている「もったいないを価値へ」という想いが、皆様に”社会貢献の輪”として広がることを願っています。

■社会貢献型ショッピングサイト「KURADASHI」について

KURADASHI (<https://www.kuradashi.jp/>) は、フードロス削減への賛同メーカーより協賛価格で提供を受けた商品を最大97%OFFで消費者（会員）へ販売し、売り上げの一部を社会貢献活動団体へと寄付する日本初・最大級の社会貢献型フードシェアリングプラットフォームです。環境保護や動物保護の団体、新たに設立したKURADASHI基金など、全19団体を支援しています。

- ・ 2015年：サービス開始
- ・ 2017年：農林水産省 食料産業局「食品ロスの削減へ向けて」に掲載
- ・ 2017年：「ソーシャルプロダクツ・アワード2017」にて「優秀賞」を受賞
- ・ 2018年：東京都環境局「チームもったいない」における「Saving Food」部門代表に抜擢
- ・ 2018年：環境省主催「第6回グッドライフアワード」にて「環境大臣賞」を受賞
- ・ 2019年：消費者庁公式ホームページ「食品ロス削減 食べ物のムダをなくそうプロジェクト」にて掲載
- ・ 2019年：品川区「社会貢献製品支援事業」選定・認定
- ・ 2020年：第7回「食品産業もったいない大賞」にて審査委員会委員長賞を受賞
- ・ 2020年：「環境白書」「消費者白書」に掲載

■会社概要

会社名 : 株式会社クラダシ
本社所在地 : 〒141-0022 東京都品川区東五反田4-5-2 五反田NTビル2F
代表取締役 : 関藤 竜也
事業内容 : 社会貢献フードシェアリングプラットフォーム「KURADASHI」の運営
代表電話番号 : 03-5333-2966
メールアドレス : info@kuradashi.jp



URL : <https://www.kuradashi-mottainai.com/>

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社クラダシ

TEL : 03-5333-2966

e-mail : info@kuradashi.jp